

■主催：日赤図書室協議会 ■会場：日本赤十字社 日赤会館 201会議室（東京都港区）
■対象：病院図書室担当者 ■時間：10:30-12:00（質疑応答込90分）

ひとり職場の有利さを活かす

－決断と実行は自分しだい－

仁上幸治（図書館サービス計画研究所 代表）



概要

情報ニーズが多様化し、情報サービス提供者もユーザーに選ばれる時代になった。図書館界では、旧来の「待ちの姿勢」が招き寄せた衰退傾向は、恒例行事の多少の工夫程度では押しとどめることができなくなっている。奇跡のV字回復を図るには、広く情報サービス産業界の中で図書館業界全体の存在感を高め、地域社会の中で図書館と図書館員の存在感を高め、さらには図書館設置主体である親組織の中での図書館の価値を訴求していくことが求められる。

そのためには、顕在的潜在的利用者だけでなく、親組織の長（院長・理事長等）・管理職者・スタッフを含めて、コミュニティの全構成員との友好・協力・共闘の関係をどう構築していくかという戦略的視点が必要不可欠である。この関係再構築の理論としてPR（パブリックリレーションズ）を取り上げ、ジリ貧状況を打開する中央館・地域館ぐるみの全国的な共同の具体的な取り組みを開始することを提言する。

本研修では、研修後の各館での実践をサポートし、成果を出すまでのフォローアッププログラムの実施を強くお勧めする。

<目次>

【1】名刺はブランディングの入口

【2】味方をつくる

【3】コンセプトからデザインへの展開

【4】現場に応用する7つの極意

【5】発想の転換

【6】味方づくり戦略

【7】結論

* 質疑応答

* 仁上新刊のご案内

付録

■1：参考文献

■2：参考サイト

■3：講師紹介： 著書・論文・講演

講演要旨

はじめに

クサガメ

名前はワカメ
爬虫類＝下等動物？
寝てばかり？
鈍足？

固定観念

動画
ツカミに効く
授業に使える
利用教育にも

自己紹介

仁上幸治 (にかみ・こうじ)
図書館サービス計画研究所(トサケン)代表
元・帝京大学 総合教育センター 准教授
元・早稲田大学図書館司書
非常勤講師(法政大学、亜細亜大学、東京家政大学、桜美
林大学、和光大学、玉川大学)
クサガメを室内放し飼い

過去の研修会

●講演

1)2002.8.3-看護図書館協議会利用教育研究グループワー
クショップ:講演「誰でもすぐできるパスファインダー作成法
ー日常業務の中で手軽に作るための6つの極意ー」日本医
科大学図書館
2)2005.11.17-近畿地区医図協・薬図協・病図協共催シンポ
ジウム:講演「利用者教育におけるプレゼンテーションの実
際」、大阪大学
3)2010.11.27-日本病院ライブラリー協会研修会
「図書館の魅力は細部に宿るー「ちょっとした工夫」を超える
ブランド戦略ー」有明東京ファッションタウンビル会議室

●講演録

「図書館の魅力は細部に宿るー「ちょっとした工夫」を超える
ブランド戦略ー」『ほすびたる らいぶらりあん』36(1), 2011.3,
pp.8-14.[全文 PDF]

<https://drive.google.com/file/d/0BzjiFUntj382NTNkOTRkNmQtMTRmOC00NjRjLWFmMmQtZml2Mjg2ODgwMDgw>

●インタビュー記事

「これからの「PR」の話をしようーいまを生き延びるための図
書館経営学ー」
『病院図書館』30(3), 2011.5, pp.124-132. (特集「図書館の
PR」) [全文 PDF]

<https://drive.google.com/file/d/0BzjiFUntj382NGZhY2Q5Y2QtM2Q5NS00YzQ2LWl2NDctZThlMzVjMjZmMGU3>

なぜ低い？

認知度
利用率
親組織内の重要度
スタッフの労働条件

どうすればいいのか？

自信がない

パソコンスキル
専門知識技能
アイデア
提案力
交渉力
政治力
気力
体力

【1】名刺はブランディングの入口

名刺を持ち歩いていないかた？
自分をどうやって覚えてもらうのか？
メールをもらうには？

名刺コレクション

正統派古典型
図書館画像型
ロゴマーク揺れ型
・国立国会図書館

記載要素揺れ型

・QRコード
・ロゴマーク
・URL
・姓名ふりがな
・住所・電話・アドレス(位置も揺れる)
・石川県立図書館

統一テンプレート型

肩書き・要素・色は統一
姓名のアルファベット表記は微妙
横型と縦型が混在
別型バリエーションあり
・鳥取県立図書館

自分ブランディング型

・空手家図書館員
・泳ぐ図書館の司書

名刺デザインのポイント

どこかダメか？
同じ組織なのに印象がバラバラ
正統派古典型イメージは陳腐
図書館画像は古典イメージを強化
デザイン不統一は政策不在の象徴
ロゴマーク揺れ
レイアウト揺れ

サイン

各課各係各員による上塗り重層化
禁止だらけ
コテコテ特盛

大組織

会議

歴史と伝統
硬直化
現状維持

ワンパーソン
小回り
自分しだい
決断と実行
速攻修正

イメージ
現状でよいか？
改善できるか？

【2】味方をつくる

印象づけ
印象の総和
評価

図書館と図書館員のイメージ問題
図書館ブランディングの出発点
×ゼロ
▲マイナス

テレビドラマの中のステレオタイプ
どういう人物像か？
なぜそういう設定か？
事実か誤解か？

図書館員のイメージ
自己イメージ 社会的イメージ
真面目 > 親しみにくい
堅実 > 融通が利かない
博識 > 理屈っぽい
専門職 > 単純定型作業 (-"-)

詳しくは・・・

2015.06.09-KLL(関西ライブラリアンリンク)企画】仁上幸治
さんと語る交流会
「映像の中のトンデモ図書館員たちー図書館ブランディング
講座番外編ー」
『図書館員のための PR 実践講座』増刷記念講演会＋交流
会 Biz Library (ビズライブラリー)(大阪駅前)

伝えたい自分イメージ

- 1)プランナー
- 2)コーディネーター
- 3)プロデューサー
- 4)インストラクター
- 5)クリエイター
- 6)ファシリテーター

図書館員の味方

味方はどこに？
同僚
上司
館長
親組織
利用者

同僚

「外」系図書館員
閲覧・レファレンス部門
つながる大好き系
「内」系図書館員
目録・管理部門
つながり嫌い系

「外」系への批判

本務を疎かに
外に出たがる
イベントごと大好き
休暇宣言
来客おもてなし隊
休日も図書館めぐり

上司

面倒嫌い
新規事業嫌い
交渉事嫌い
前例主義

館長

名誉職
親組織の天下りポスト
定年直前
事なかれ主義
公募！

親組織から見た図書館

収入を生まない
生死に関わらない
お荷物
合理化対象
全面外部委託

親組織から見た図書館員

奇人集団
妙なプライド
組織行動苦手
心身変調職員の受け皿

利用者

常連固定客
馴れ合い

非利用者

図書館評価
知らない
役立たない
嫌い
行かない

内部改革者

ムラ社会の異端者排除
改革推進の抑圧
図書館訓
出る杭は熱いうちに打たれる！

外部委託
指定管理

今日のテーマ

ひとり職場の有利さを活かす
→決断と実行は自分しだい→

直営か指定管理か？

直営

正規職員
図書館嘱託員

指定管理

正規職員
非正規職員
指定管理でサービス向上
指定管理で人件費節約

◎龍ヶ崎市立中央図書館

<https://tosyo.city.ryugasaki.ibaraki.jp/>

② 新しいサービス

- ・ 開館日が増えます (年間 340日)
- ・ 開館時間を 30分 延長します
閉館時間：午後7時 ⇒ 午後7時30分
- ・ 新聞データベースの館内提供
茨城新聞データベース 日経テレコン21 ヨミダス歴史館
- ・ 音楽配信サービスの提供
ナクソス・ミュージックライブラリー
- ・ 子ども司書講座の開講
- ・ 講演会の開催
- ・ ブックスタート配布絵本の増冊
配布冊数 :1冊 ⇒ 2冊
- ・ 定期的なアンケート調査の実施

③ これまでに実施してきた事業の継続実施

もちろん、これまで実施してきたおはなし会、市民文学散歩などの事業は継続します

市民による評価

「サービス向上で利用者として満足」
「人件費削減できて納税者として良かった」
「今までなぜできなかったのか？」

敵だらけ？

図書館は直営の価値を訴求できるか

味方はどこに？

探す？
作る！
あなたが変われば

味方づくりは自分ブランディングから

同僚に好かれる
上司に頼られる
館長に自慢される
親組織に重宝される
利用者に仲間と認められる

【3】コンセプトからデザインへの展開

マーケティング

世界で一番読まれているマーケティング教科書！
コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント基本編 第 3

版 著：フィリップ・コトラー (Philip Kotler)
ケビン・レーン・ケラー (Kevin Lane Keller)
2008年12月20日 474p.価格:3,990円

ブランディング

ケラー, ケビン・レーン, 恩蔵直人監訳『戦略的ブランド・マネジメント』第3版, 東急エージェンシー, 2010.845p, 7980円(税込)

ケラーの定義

「ブランディングは精神的な構造を創り出すこと,消費者が意思決定を単純化できるように,製品・サービスについての知識を整理すること」
「ブランディングにとっての鍵は,ある製品カテゴリー内で消費者が知覚するブランド間の差異である」

CI コーポレート・アイデンティティ

・中西元男『コーポレート・アイデンティティ戦略—デザインが企業経営を変える』誠文堂新光社, 2010.4.

Paos (中西元男)

MAZDA
カラー
開発フロー
訴求優先順位
基準・体系・要素デザイン
基本・応用・マニュアル化
ベーシックシステムデザイン
CIS (VIS) Tree
名刺・帳票
便箋・封筒
屋外看板
サイン
車両
広告
制服・名札
店舗
バッジ

NTT DoCoMo

ロゴ

NTT DoCoMo デザイン開発コンセプト

佐藤可士和

明治学院大学
今治タオル
ユニクロ
セブンイレブン
●セブンカフェ

伊東豊雄

仙台メディアテーク
新国立競技場(案)
岐阜市立中央図書館(2015年7月開館)

ぎふメディアコスモスがオープン

<http://news.mynavi.jp/news/2015/07/17/666/>

岐阜市立中央図書館

<http://g-mediacosmos.jp/lib/>

ぎふメディアコスモス事業課

<http://www.city.gifu.lg.jp/2997.htm>

【4】現場に応用する7つの極意

ブランディングの3つのレベル
商品・サービスのブランディング
組織のブランディング
スタッフの自分ブランディング

図書館グッズ研究
図書館総合展 2007

●図書館総合展フォーラム講演会
(主催:社会福祉法人 埼玉福祉会)

【講演】

図書館グッズが利用者と館員を変える！
－イメージ戦略の先進事例－

講師 仁上幸治 (にかみ・こうじ)
■2007年11月18日(木) 10:30～12:00 (90分)
■パシフィコ横浜フォーラム第3会場
旭川セミナー2009

●旭川医科大学図書館主催・旭川市図書館共催
講演会

図書館をもっと元気に！
－“グッズ”活用による新発想広報のすすめ－
講師 仁上幸治 (にかみ・こうじ)
(帝京大学総合教育センター准教授／元・早稲田大学図書館司書)

■2009年9月12日(土) 14:00－16:00(120分)
■旭川市中央図書館 2階 視聴覚室

●図書館総合展 2009

(1)とにかくグッズを作ってみよう！

●山中湖セミナー2010
・2010.09.04-06-図書館サービス計画研究所(共催:NPO法人 地域資料デジタル化研究会)「トサケンセミナー in 山中湖 図書館ブランディングフェスタ 2010-グッズ企画開発のためのデザイン会議-」

(2)ただグッズを作ればいいってもんじゃない！

●図書館総合展 2010
・2010.11.24-図書館総合展 2010 トサケンフォーラム「今日から使える図書館ブランディングセミナー-図書館魅力再発見計画-」基調講演、パシフィコ横浜会議センター第2会場(3階302)

●図書館総合展 2011
・2011.11.11-図書館総合展トサケンフォーラム-ブランディングセミナー(2)基調講演「ブランディングはアイデンティティの明確化から」パシフィコ横浜

●図書館総合展 2012
・2012.11.21-今日から使える図書館ブランディングセミナー(3)

図書館員の自分ブランディング検定-専門職崩壊の時代にあなたの専門職イメージは何点？-
基調講演「図書館ブランディングの現在」
事例報告:
ワークショップ:図書館員の自分ブランディング検定

(3)グッズを作る前に考えるべきことがある！

事例紹介(トサケンの場合)

図書館サービス計画研究所
略称、トサケン
Since 2006.10.14
ML 会員:全国 600名→200名
(ホームページ)https://sites.google.com/site/tosaken23/
トサケン自体を例題にしたブランディング
アイデンティティ
コンセプト
デザインエレメント
マーク、シンボル、ロゴ

(4)まずコンセプトを固める！

ウチの図書館はどんな図書館？
自館の特徴は？
規模が小さい
蔵書が貧弱
スタッフ少ない
専門性に不安

実態リアリズム
ありのまま伝達主義

戦略的視点
組織・機関・部署としての図書館
個々の図書館員の地位や雇用
職業人としてのサバイバル

私のお気に入り

街のカフェ
近所のコンビニ
小さなパン屋さん
駅前の本屋さん

プラス面切り取り主義

規模が小さい
→ 小回りの利くキビキビしたサービス
蔵書が貧弱
→ 精選された蔵書構成
スタッフ少ない
→ 家族的な雰囲気、ボランティア歓迎！
専門性に不安
→ 共に学んで成長していく前向き図書館員

弱みを強みに言い換える

最寄り駅から遠く、周辺に魅力的なスポットがない。
駅から遠い。(徒歩 40分)

山武市立図書館

さんぶの森図書館
http://lib.city.sammu.lg.jp/lib02_sanbu.html
[交通案内]
JR 総武本線 日向駅から 2.5Km

死角が多い。
→ 散歩の途中に立ち寄るオトナの隠れ家

施設の老朽化
→ 歴史と伝統の落ち着いた佇まい

利用者がパソコンを使える環境がない

→ 日頃の雑事を忘れる贅沢な時間

分館に本が分散してしまっている

→ 暮らしに一番近い自分だけの書齋

トサケンのアイデンティティ

●現在のキャッチ

図書館界の知恵袋を目指す開かれたバーチャル研究所

トサケンらしさ

負けない、メゲない、

しつこい

前進あるのみ

着実な歩み。

粘り強い。

楽しい。

…となれば

象徴的なキャラクターは

カメ!!

飛ばない亀はただの亀だ!!

紅の亀

カラー

紅の赤

(燃える情熱と大人の落ち着き)

(5)グッズ作ったら実際に使ってみる!

(6)図書館全体のブランディングへ展開する!

CIS (VIS) Tree

(7)とりあえずマネしてみることから

1)作り直す品目

名刺

サイン

封筒

利用者カード

自動車

図書館グッズ

2)見直す必要がある視覚要素

名称・用語

ロゴマーク

キャラクター

デザインコンセプト

3)連携の仕掛け

館内一丸

域内図書館連携

類縁機関連携

地域連携

異業種連携

4)推進体制

改善マインド

改善チーム

現場に応用する7つの極意まとめ

1)とにかくグッズを作ってみよう!

2)ただグッズを作ればいってもんじゃない!

3)グッズを作る前に考えるべきことがある!

4)まずコンセプトを固める!

5)グッズ作ったら実際に使ってみる!

6)図書館全体のブランディングへ展開する!

7)とりあえずマネしてみることから

今後の研修テーマ

キャッチコピー講座

広告レイアウト講座

バブリシティ講座

ブランディングシミュレーション講座

デザイン強化合宿講座

情報検索例題作成講座

プレゼンテーション講座

スライドショー講座

アドボカシー講座

デザインニング研修

山中湖情報創造館(2015年後半予定)

合宿+ワークショップ形式

マーケティング・広告の専門家

【5】発想の転換

1) 固定観念を捨てる

発想の転換

外の世界に目を開く

異業種の人材から発想や仕事術を学ぶ

弱点を逆手に取る

自虐ネタ

スベリ芸

事例

●誰も借りてくれない本 100冊 ICU 図書館で紹介:朝日新聞デジタル

www.asahi.com/articles/ASG6K5T12G6KUTIL030.html

ヒント

弱点を自虐ネタに

スベリ芸も芸のうち

2)ダメモト

どうせ無理と言わない

とりあえず交渉してみる

事例

葉

=ブックマーク(bookmark)

図書館ポスターの限界

図書館界の内輪うけ

>> 一般的全国的な話題性

固着的来館者にしか届かない

>> 非利用層への訴求力

閉鎖的な制作体制

>> 一流広告業者によるコンペ

日本図書館協会

1998、1999

木原庸佐(きはら・ようすけ)

コニーちゃん

フジテレビ「ボンキッキーズ」

参考6)葉の裏面見本: 早稲田大学高等学院図書館「返却期限日葉」1989-91?

葉(ブックマーク)
小さなメディアの意外に大きな効果
ー広報・利用促進・利用者教育のためのワンポイント情報提供ー

◎留意点

表のイラストで注目させ裏を読ませる
内容はシンプルに
デザインは利用者本位に
使い方を工夫する
配布方法を工夫する
メディアミックスの考え方を忘れず

事例

●鎌倉幸子(シャンティボランティア会)
・MULU(みちのくライブラリアン連合)での出会い
2012.01.28-MULU 茶話会
・日産自動車で「車ください！」
・新宿区北図書館での偶然の再会
2013-07-14 図書館×広報×マーケティング
<http://ameblo.jp/1192-sachiko/entry-11572195358.html>
2013.8.8 ランチ@トルコ料理 ヒサル(新宿区百人町)
・鎌倉幸子『走れ！移動図書館』筑摩書房, 2014.1.
<http://www.chikumashobo.co.jp/product/9784480689108/>
・『走れ！移動図書館』発売日イベント～紀伊國屋書店を封鎖せよ』2014年1月7日(火)16:30～21:30
喫茶室ルノアール ニュー新宿3丁目店
<https://www.facebook.com/events/555305001227421/>

ヒント

ダメモトでトライ
意外な味方
思わぬ援軍
期待以上の大躍進

教訓

提案前に諦めたら何も起きない
どうせ思考がネック
停滞に安住は怠慢

3)何でもあり

話題を作る
日常をイベント化する

●図書館を愛してやまない人の飲み会

第3回「ここが変だよ図書館用語」(ソフトドリンクあり)
2013.09.27@シャンティ国際ボランティア会)

●図書館愛人協会(略称)

図書館を愛してやまない人協会
図書館を愛してやまない関根夕希子さんが伊勢に行く瞬間
を見送る会
2014年7月1日 19:00 - 21:50
タイ国屋台食堂 ソイナナ(西新宿)

教訓

ジリ貧状況では何でもアリ！

4)「あるもの」活用

「ないからできない」という言訳

海士町中央図書館

<http://lib.town.ama.shimane.jp/>
ないものはない!!

4) あるモノ使い

ヒト・モノ・カネ・トキの不足
できない言い訳
あるモノの徹底活用
とことん創意工夫
ヨコの連帯

もしも、予算が取れず、能力が不足だったら・・・

里山資本主義

・『里山資本主義』藻谷 浩介/NHK広島取材班 角川書店, 2013.7.
<http://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784041105122>
里山のチカラ - NHK オンライン
<http://www.nhk.or.jp/eco-channel/jp/satoyama/interview/motani01.html>

ヒント

あるモノの徹底活用
忘れ物文具
プリント裏面
スタッフ(隠れた才能)
協力者(ボランティア)

教訓

ヒト・モノ・カネ・トキは必ず不足
不足状況での打開アイデアの勝負

5)街へ出る

市民講座の講師を務める
図書館活用法、データベース活用法など
事例
・梅澤貴典(中央大学学事部学事課副課長)
「誰でもできる！ 知的生産のための図書館&公的データベース活用法」2014.7.26 墨田区 ひきふね図書館
<http://www.ustream.tv/channel/sumitoshopartners>
<http://hikifunetoshokanpartners.jimdo.com/講座ライブ中継/>

成果のリサイクル

市民からの評価が向上
評価の声を大学内へ逆輸入
大学図書館員の学内的評価を向上

6)「できない」と言わない

変化を嫌う図書館界の悪しき伝統
マイナス面だけをあげつらう消極的心性
事例

●新宿区立中央図書館
廃校になった中学校校舎へ移転
新館建設計画はビミョー？
Never Say Can't!
新宿区中央図書館の玄関にある標語)
<https://www.facebook.com/koji.nikami.10/posts/522106897894406>
旧中学校の玄関のまま

【6】味方づくり戦略

PR(パブリックリレーションズ)

ただの「お知らせ」ではない。
関係者を利用者に、さらに味方に変えていくこと。
世論喚起
行政側の政治的判断に影響を持つ
利用者・支援者・後援者の結束を強化

学ぶべき教訓

味方づくりのための広報＝PR 活動
常日頃から
より意識的に
より積極的に

味方づくり戦略

1)強力な味方を作る

利用者とは別
理解者
協力者
参加者
支援者
協働者

2)利用者セグメントの細分化

潜在利用者
非利用者
社会活動家
企業経営者
篤志家

役所

教育委員会
大学理事会
政治家

3)対象者の「外」を攻める

潜在利用者： 非利用原因の解明→原因の除去
社会活動家： 協働・相互支援
大学理事会： 自校教職員自慢 ライバル校事例

企業経営者： 篤志家哲学(カーネギーの例)

企業経営者： 社会貢献 ライバル企業事例

役所： 納税者 他の先進自治体

教育委員会： 自慢の種

政治家： 有権者からの圧力

4)迂回逆輸入作戦

外での評判
マスコミの話題
ネットの話題

5)図書館の大胆なイメージ革新

これが図書館なの?!

これは図書館ではない!

6)原理主義との決別

貸出中心主義
読書原理主義
文学偏愛主義
小説至上主義

7)非利用者層の掘り起こし

旧来の固定観念からの解放
出会いという本質機能に立ち返る

8)実務技能の向上

マーケティング
ブランディング
デザイン

アイデンティティ

味方づくり戦略のまとめ

- 1)強力な味方を作る
- 2)利用者セグメントの細分化
- 3)対象者の「外」を攻める
- 4)迂回逆輸入作戦
- 5)図書館の大胆なイメージ革新
- 6)原理主義との決別
- 7)非利用者層の掘り起こし
- 8)実務技能の向上

プロの存在感を訴求する

【7】結論

存立危機事態

ジリ貧状況を打開する

「打って出る広報」

「味方を作る広報」

関係再構築

コミュニティに認知されるには

発想の転換

斬新なアイデア

大胆な提案

ジリ貧状況を打開する中央館・地域館ぐるみの関係再構築
に取り組もう!

とにかく一歩目

例えば名刺から

図書館の視覚的要素全般への展開

部分的・段階的に

質疑応答

◎まとめ

外堀を埋める

本丸を攻める

図書館ブランディング

図書館員ブランディング

自分ブランディング

◎自習用文献

* PR とブランディング

1)仁上幸治. 研究文献レビュー「図書館の「広報」は進化しているか?—説明責任と自己アピールの時代に求められる理論と実践—」『カレントアウェアネス』No.305, 2010.9, pp.16-24.CA1728:[全文]

HTML 版: <http://current.ndl.go.jp/ca1728>

PDF 版: <http://current.ndl.go.jp/files/ca/ca1728.pdf>

* 仁上新刊のご案内

初の単著単行書: 初版完売、増刷出来!(5/29)

1)仁上幸治著『図書館員のための PR 実践講座—味方づくり戦略入門—』樹村房 2014年10月30日刊行 判型:A5判、ページ数:120p、価格: ¥ 1,500 (税別) ¥1,620 (税込) ISBN:978-4-88367-239-4

■付録1. 参考文献

●図書館利用教育ガイドライン

- ・日本図書館協会利用教育委員会編『図書館利用支援ガイドライン—図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p. ¥1500
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践—すべての図書館で利用教育を—』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会『問いをつくるスパイラル—考えることから探究学習をはじめよう!』日本図書館協会, 2011.9.

●オリエンテーション・講習会

- ・仁上幸治「大学図書館員のためのオリエンテーション技法: 印象づけを重視した構成・演出の改善の試み」『医学図書館』52(1), 2005.3, pp.15-24.
- ・仁上幸治「オリエンはエンタメだ! —素敵な印象を伝えるプレゼンテーションを—」『学図研ニュース』No.229, 2005.3.1 (特集オリエンテーション) pp.2-5.
- ・仁上幸治「文献調査法の専門分野別最先端情報の共有へ向けて—研究室内知識伝承者を養成するインストラクター講習会の試み—」『ふみくら』77, 2008.12, pp.4-5. [全文]
- ・仁上幸治「情報検索指導における良い例題・悪い例題(初級編)—素材を集め, 問題を作り, 要点を説明する方法—」, 日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践—すべての図書館で利用教育を—』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3, pp.88-108.

●広報・PR

- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部図書館サービス研究分科会広報グループ『図書館広報を考えなおす』, 1982.12.
- ・高橋昇・仲谷由香理・仁上幸治「新図書館とサインシステム計画」『早稲田大学図書館紀要』no.27, 1987.3, pp.58-90. [全文]
- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブック—広報戦略の全面展開をめざして—』日本図書館協会発売, 2002.9 303p, ¥2381
- ・仁上幸治「ライブラリアンのための広報戦略マニュアル—専門性を訴求する5つのポイント—」『専門図書館』No.225 2007.9, pp.88-93.
- ・仁上幸治「図書館広報はなぜ読みにくいのか(中級編)—レイアウト改善の5つのポイント—」『館灯』47, 2009.3.31, pp.124-129.
- ・仁上幸治「図書館を見違えるほど魅力的に! —少人数職場ならではの即効変身術—」『短期大学図書館研究』No.29 (2009), pp.49-53.
- ・仁上幸治「何を誰にどう訴えればよいのか」『専門図書館』2009(5), (239), 2010.1, p.2-7. (特集図書館アピール)
- ・仁上幸治「これからの「PR」の話をしよう—いまを生き延びるための図書館経営学—」『病院図書館』30(3), 2011.5, pp.124-132. (特集「図書館のPR」)
- ・仁上幸治著『図書館員のためのPR実践講座—味方づくり戦略入門—』樹村房(★2014年10月30日刊行)

●広告

- ・谷山雅計『広告コピーってこう書くんだ! 読本』宣伝会議, 2007.
- ・宣伝会議コピーライター養成講座編『最新約コピーバイブル』宣伝会議, 2007.
- ・デンソウデザインタンク編著 後藤徹 監修『新アートディレクター入門』電通, 2007.3
- ・姫路市立美術館, 凸版印刷株式会社印刷博物館編『大正レトロ・昭和モダン広告ポスターの世界: 印刷技術と広告表現の精華』国書刊行会, 2007.7
- ・眞木準『胸からジャック。: 心にささる一行メッセージのつくりかた。』大和書房, 2007.7
- ・オブスキュアインク『レイアウトデザインのルール: 目を引くページにはワケがある。』ワークスコーポレーション, 2008.2
- ・堀内敬一『売れる! チラシのデザインルール』グラフィック社, 2006.6

●CIとブランディング

- ・ケビン・レーン・ケラー(恩蔵直人・亀井昭宏訳). 戦略的ブランド・マネジメント. 第3版. 東急エージェンシー出版部. 2010.
- ・菅谷明子『未来をつくる図書館: ニューヨークからの報告』岩波書店, 2003(岩波新書 新赤版 837). 735円
- ・中西元男『コーポレート・アイデンティティ戦略—デザイン

が企業経営を変える』誠文堂新光社, 2010.4.

- ・仁上幸治「図書館の魅力は細部に宿る—「ちょっとした工夫」を超えるブランド戦略—」『ほすびたる らいぶらりあん』36(1), 2011.3, pp.8-14.

●図書館グッズ

- ・図書館サービス・ツール研究会編著『ライブラリー・グッズの調査・研究と企画・開発』(平成 21 年東京都図書館協会研究助成報告書), 2010.2, 33p.
- ・仁上幸治「グッズが図書館を元気にする!—暗い状況でも楽しめる最強秘密兵器—」(特集 ライブラリー・グッズ) [聞き手: 鈴木正紀]『大学の図書館』426, 28(5), 2009.5, pp.70-75.
- ・仁上幸治; 中島玲子; 石川敬史「笑顔を生み出す「魔法」の戦略ツール—図書館グッズの研究・開発・普及活動—」『薬学図書館』55(2), 2010.4, pp.94-101.

●プレゼンテーション

- ・石居進『理系のためのPowerPoint「超」入門—プレゼンテーションからホームページ作成まで』(ブルーバックスCD-ROM), 講談社, 2003, ¥1,995
- ・ブルボン小林『ぐっとくる題名』中央公論新社, 2006.9(中公新書)
- ・諏訪邦夫『発表の技法—計画の立て方からパソコン利用法まで—』講談社, 1995(ブルーバックス B-1099), ¥760.
- ・中川佳子『「情報を見せる」技術』光文社新書, 2003.7 ¥850.
- ・藤沢晃治『「分かりやすい表現」の技術—意図を正しく伝えるための16のルール—』講談社, 1999.3(ブルーバックス, B-1245)
- ・藤沢晃治『「分かりやすい説明」の技術—最強のプレゼンテーション15のルール—』講談社, 2002.10(ブルーバックス, B-1387)
- ・ボブ・ボイルン『プレゼンテーション成功の秘訣13』TBS ブリタニカ, 1993. ¥1300.
- ・藤沢晃治『「わかりやすい表現」の技術』講談社, 1999. ¥800. (講談社ブルーバックス B-1245)
- ・藤沢晃治『図解「伝える」技術ルール10—話して伝える, 書いて伝える, 図表で伝える』講談社, 2006.10
- ・岩永嘉弘『「行力」草思社, 2004.4

●指導法

- ・岡本浩一『上達の法則—効率のよい努力を科学する』PHP 研究所, 2002.5 (PHP 新書) ¥714
- ・多和田悟『犬と話をつけるには—駄目な犬の困った飼い主にならないために—』文藝春秋, 2006.6, (文春新書)
- ・中野氏夫『ワークショップ—新しい学びと創造の場—』岩波書店, 2003.04 (岩波新書)
- ・畑村洋太郎『失敗学』事件簿—あの失敗から何を学ぶか—小学館, 2006.4, ¥1300
- ・吉田新一郎『効果10倍の「教える」技術: 授業から企業研修まで』PHP研究所, 2006 (PHP新書)

●「情報の達人」の歴史

- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「人・時間・予算の壁を破る利用者教育の強力ツール新登場」『図書館雑誌』1992.11, pp.798-799.
- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「利用者教育ビデオシリーズへの熱い期待」『図書館雑誌』1993.8. 1993.8, pp.553-556.
- ・仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像—『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, p.39-52.
- ・仁上幸治「『図書館の達人』から『情報の達人』へ—利用者教育映像教材の進化 15年の集大成—」『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.
- ・『情報の達人』ホームページ:
<http://www.kinokuniya.co.jp> (左メニュー下方に入口)

●図書館長の仕事

- ・『ある図書館長の日: 市町村立図書館経営の実際』紀伊國屋書店, 1998: (27分): VHS (図書館の達人; 司書実務編 pt.3; 7).
- ・ちばおさむ『図書館長の仕事: 「本のある広場」をつくった図書館長の実践記』日本図書館協会, 2008 (JLA 図書館実践シリーズ; 10).
- ・花井 裕一郎『はなぼん わくわく演出マネジメント』文屋, 2013.1.
- ・内野安彦『図書館はラビリンス—だから図書館めぐりはやめられない part2』樹村房, 2012.11.
- ・内野安彦『だから図書館めぐりはやめられない—元塩尻市立図書館長のアンソロジー—』ほおずき書籍, 2012.6.
- ・内野安彦『図書館長論の試み—実践からの序説』樹村房,

2014.5.

・内野安彦『塩尻の図書館を創った人たち-われら図書館応援団』ほおずき書籍, 2014.8.

●カメ

・長坂拓也・文 大片忠明・絵『かめ』フレーベル館, 2009 (フレーベル館だいすきしぜん 26)
・田中美穂『亀のひみつ』WAVE 出版, 2012.8. ★倉敷の古書店「蟲文庫」店主

■付録2. 参考サイト

【1】広告

- ・京都広告塾 編『巧告。：企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京：インプレスジャパン, 2007.8 <http://www.impressjapan.jp/books/2442.php>
- ・京都広告塾 編『効告。：企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京：インプレスジャパン, 2007.11 <http://www.impressjapan.jp/books/2483.php>
- ・京都広告塾 編『考告。：企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京：インプレスジャパン, 2007.10 <http://www.impressjapan.jp/books/2459.php>

【2】広告アーカイブ

- ・新聞広告データアーカイブ：
<http://www.pressnet.or.jp/adarc/data/>
- ・動画 NOW!! CM 企業 一覧：
<http://www.doga-now.com/company/>
- ・宣伝会議：<http://www.sendenkaigi.com/>
- ・PRIR：
<http://www.sendenkaigi.com/hanbai/magazine/prir/>
- ・百式 POP*POP 広告・マーケティング カテゴリー：
<http://www.popxpop.com/archives/cat19/>

【3】デザイン

- ・服部デザイン研究所：「THE Know-How」レイアウト能力：
http://wwwweb.jp/hdi/data/pc/dtl_lyt.html
- ・増田デザイン事務所 Masuda Design Office：
<http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/index.html>
- ・グラフィックデザイン：
<http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/graphic5.html>
- ・MdN：<http://www.mdn.co.jp/content/view/6/18/> または <http://www.mdn.co.jp/content/category/38/27/55/>
- ・グラフィックデザイン：
<http://www.mdn.co.jp/content/blank/89/130/>

【4】編集

- ・松岡正剛事務所 セイゴオちゃんねる：
<http://www.isis.ne.jp/seigowchannel/>

- ・編集工学研究所：<http://www.eel.co.jp/>
- ・インシ編集学校：<http://es.isis.ne.jp/>
- ・松丸本舗：<http://www.matsumaru-hompo.jp/>
- ・松岡正剛の千夜千冊：<http://1000ya.isis.ne.jp/>

【5】CIとブランディング

- ・パオス：<http://www.paos.net/>
- ・佐藤可士和：<http://kashiwasato.com/>

【6】編集・広告の学校

- ・編集の学校／文章の学校：<http://www.editorsschool.jp/>
- ・～編集の現場から～ 文章上達のための練習問題：
<http://www.raichosha.co.jp/mm/sentence.html>
- ・宣伝会議：<http://www.sendenkaigi.com/>
- ・宣伝会議の教育講座：
<http://www.sendenkaigi.com/kyoiku/>

【7】オフィスソフトを自習する

- Microsoft atLife
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/>
- TIPS(使い方ガイド)
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/>
- Office (オフィス) の活用方法と Tips をご紹介
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/office.aspx>
- Word
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/word.aspx>
- Excel
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/excel.aspx>
- PowerPoint
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/powerpoint.aspx>

【8】プレゼンテーションの方法を学ぶ

- ・Presentation.jp (プレゼンテーション総合サイト)：
<http://www.presentation.jp/index.html>
- ・資料作成：
http://www.presentation.io/prio/knowhow/sirvou/traop_dnt.html
- ・高橋メソッド：<http://www.rubycolor.org/takahashi/>

■付録3. 講師紹介

仁上幸治 (にかみ・こうじ): 図書館サービス計画研究所 代表／元・帝京大学総合教育センター准教授／元・早稲田大学図書館司書／非常勤講師歴(法政大学・亜細亜大学・東京家政大学・桜美林大学・和光大学・玉川大学)

講演生涯合計 180 本(2015 年 6 月末時点)

◎電子メール：nikamikoji@yahoo.co.jp

◎ホームページ：<http://sites.google.com/site/nikamik23/>

◎図書館サービス計画研究所(略称トサケン)：<https://sites.google.com/site/tosaken23/>

◎教材開発：ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』全3巻(DVD), 紀伊國屋書店, 2007.2.

◎著書

・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ガイドライン—図書館における情報リテラシー支援サービスのための(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p: ¥1500

・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブック—広報戦略の全面展開をめざして—』日本図書館協会発売, 2002.9 303p, ¥2381

・戸田光昭[他]共著『改訂 専門資料論』樹村房, 2002.10 (新図書館学シリーズ第8巻), ¥1900

・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3

・三浦逸雄, 野末俊比古(共編著)『専門資料論』新訂版, 日本図書館協会, 2010.3 (菅野育子, 高橋昇, 仁上幸治共著)(JLA図書館情報学テキストシリーズ, II-8)

・大学導入教育研究会編『よくわかるライブデザイン入門—大学生のための必須学習術—』第二版, 古今書院, 2011.2.10. 120p. ¥1900.

・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシ

—教育の実践—すべての図書館で利用教育を—』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3

・仁上幸治『図書館員のための PR 実践講座—味方づくり戦略入門—』樹村房(2014 年 10 月 30 日刊行)★

◎最近の論文 *多くは著者ホームページで全文公開

・[研究文献レビュー]「図書館の「広報」は進化しているか? —説明責任と自己アピールの時代に求められる理論と実践—」『カレントアウェアネス』No.305, 2010.9, pp.16-24

[CA1728] HTML 版：<http://current.ndl.go.jp/ca1728>

・「情報リテラシー底上げ奮戦記—自習時間ほぼゼロ学生のための論文・プレゼン指導—」『帝京大学総合教育センター論集』(2), 2011.3, pp.83-105.

・「図書館の魅力は細部に宿る—「ちよつとした工夫」を超えるブランド戦略—」『ほすびたる らいぶらりあん』36(1), 2011.3, pp.8-14.

・「図書館利用教育における「指導サービス」概念の形成—日本版ガイドラインの作成過程を中心に—」『日本図書館情報学会春季研究会発表要綱』(2011.5.14), pp.91-94.

・「これからの「PR」の話をしよう—いまを生き延びるための図

- 書館経営学』『病院図書館』30(3), 2011.5, pp.124-132. (特集「図書館のPR」)
- ・「マルチメディアのフル活用による双方向授業の試みーライドショー,映像教材,ファイル配布・提出,アンケートの各システムを使い切るー」『帝京大学情報処理センター年報』(13), 2011.3.31, pp.77-91.(実刊日:2011.7.25)
 - ・「図書館利用教育における「指導サービス」概念の射程〜情報リテラシー教育という枠組みの可能性と限界〜」『日本図書館情報学会秋季研究集会発表要綱』(2011.11.12), pp.53-56.
 - ・「学校図書館のブランディング戦略ー評価されるためにギリギリまで工夫を！ー」『学図研ニュース』No.326, 2013.4.1, pp.2-6.
 - ・「図書館長のための自分ブランディング講座ー内外に味方を増やすキャラクターの作り方ー」全国公共図書館協議会研究集会講演録(2013.06.28-東京都立中央図書館)
 - ・「情報リテラシー教育を担う小中学校教員をいかに養成するかー教職志望学生の徹底改造を目指す司書教諭科目からの提言ー」『帝京大学総合教育センター論集』(5), 2013, 2014.3, pp.69-93.
 - ・「忙しい図書館員のためのPC使い倒し「超」実用講座ー省力効果絶大な便利技をマスターしよう！ー」『短期大学図書館研究』33, 2014.3, pp.107-122.(CD-ROM版あり)(2013.08.23-24-九州地区私立短期大学図書館協議会研修会/精華女子短期大学)
 - ・「情報メディアは作ってみればわかるーメディアリテラシー指導のプロ教師を育てる授業の工夫ー」『帝京大学情報処理センター年報』(16), 2013, 2014.3.31(7.26刊行), pp.95-109.
 - ・「驚くほど学生が集まる図書館演出術ー少人数職場だからこそ今すぐできる即効アイデアー」『私立大学図書館協会中国・四国地区研究会報告書』第44回(2014年), pp.4-78.
 - ・「指導場面での演出力はこれでいいかー教える側の情報リテラシーを問い直すー」『館灯』53号, 47-65, 2015-03-31

◎最近の講演(2014-)

- ・2014.07.30-神奈川県教育委員会学校図書館ブランディング論研修講座「学校司書のためのブランディング入門〜イメージ革新のための劇的ピフオーアフター」神奈川県立神奈川総合高等学校 多目的ホール(神奈川県横浜市)
- ・2014.08.13-MULU5周年記念定例茶話会第50回「24時間茶話会 MULU は地球(みちのく)を救う!-今日日はまるごと図書館三昧-」講演「お疲れライブラリアン講座 即効! 元気回復! PR・ブランディング・広報のソゴ技を一挙に紹介します!」東北大学川内キャンパス
- ・2014.09.04-05-私立大学図書館協会 中国四国地区協議会研究会「驚くほど学生が集まる図書館演出術ー少人数職場だからこそ今すぐできる即効アイデアー」山陽学園大学図書館(岡山市)
- ・2014.09.11-12-私立大学図書館協会 東海地区協議会実務担当者研修会「指導場面での演出力はこれでいいかー教える側の情報リテラシーを問い直すー」名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎(名古屋)
- ・2014.10.10-千葉県「課題解決支援サービス研修会」千葉県立西部図書館
- ・2014.11.01-全国図書館大会 図書館利用教育分科会「図書館利用教育の実践力の今ー委員会創設25周年、次に向けての展望を開く」基調講演「図書館利用教育はどこまで進化したか」明治大学駿河台キャンパス(東京)
- ・2014.11.05-図書館総合展フォーラム:図書館サービス計画研究所(略称図サ研)主催:今日から使える図書館ブランディングセミナー(4)「味方づくり戦略入門」基調講演:11月5日(水)13:00~14:30 パシフィコ横浜フォーラム第7会場
- ・2014.11.18-沖縄県立図書館協会研修会講演「図書館ブランディング入門」沖縄県立図書館(沖縄県那覇市)
- ・2014.12.07-『図書館員のためのPR実践講座』(樹村房)出版記念会「ニカミズム ARISEー愛と怒りの極私的自著伝ー」東京理科大学 葛飾新キャンパス 図書館
- ・2014.12.10-文部科学省主催東海・北陸地区図書館地区別研修:講義と演習「図書館をPRする」石川県立図書館(石川県金沢市)
- ・2014.12.18-私大図協企画広報研究分科会月例会 講演(2)「図書館に出来ない学生をいかに図書館に呼び込むか?」明治大学中央図書館
- 1) 2015.02.01-『図書館員のためのPR実践講座』出版記念会 2 in 大阪「ニカミズム ARISEー愛と怒りの極私的自著伝ー」レストラン プラザ・フォーティーン(大阪歯科大学附属病

- 院 14階) 15:00~19:00(開場 14:30)(大阪市) [案内]
- 2) 2015.02.09-『図書館員のためのPR実践講座』出版記念会 3 in 千葉「ニカミズム ARISEー愛と怒りの極私的自著伝ー」(近くて遠い?! 山武ツアー: 第二日)さんぶの森図書館(千葉県山武市)
- 3) 2015.02.28-紀伊國屋書店・日本アスペクトコア 業務スタッフ研修「一歩が踏み出せない図書館員のための味方づくり戦略入門講座」紀伊國屋書店本社(東京都目黒区)
- 4) 2015.03.03-『図書館員のためのPR実践講座』出版記念会 4 in 東京(2)帝京大学図書館課程履修生懇親会「ニカミズム ARISEー愛と怒りの極私的自著伝ー」図書館サービス計画研究所(東京都新宿区)
- 5) 2015.03.17-新宿区立中央図書館 館員研修「パスファインダー超簡単講座ー基礎を学び、必要なラインナップを考えるー」新宿区立中央図書館 大会議室(東京都新宿区)
- ・2015.06.08-『図書館員のためのPR実践講座』出版記念会 5 in 名古屋「ニカミズム ARISEー愛と怒りの極私的自著伝ー」:大図研愛知支部+東海ライブラリアンおもてなし隊主催 愛知大学名古屋図書館(延期決定 5/8)
- 6) 2015.06.09-KLL(関西ライブラリアンリンク)企画】仁上幸治さんと語る交流会「映像の中のトンデモ図書館員たちー図書館ブランディング講座番外編ー」『図書館員のためのPR実践講座』増刷記念講演会+交流会 Biz Library (ビズライブラリー)(大阪駅前)
- 7) 2015.06.10-トショカン・ヨコの会の定例会『図書館員のためのPR実践講座』出版記念会 5 in 岡山「ニカミズム ARISEー愛と怒りの極私的自著伝ー」 図書館ヨコの会(岡山県岡山市)
- 8) 2015.06.12-長崎県立大学図書館協議会研修会『図書館員のためのPR実践講座』出版記念会 6 in 長崎「図書館員のためのPR実践講座ー味方づくり戦略入門ー」長崎大学附属図書館(長崎県長崎市)
- 9) 2015.06.13-『図書館員のためのPR実践講座』出版記念会 7 in 熊本「ニカミズム ARISEー愛と怒りの極私的自著伝ー」BUNZO(熊本県熊本市)
- 10) 2015.06.13-14-大学図書館問題研究会 福岡支部 特別企画(3):「潜在ユーザー発掘大作戦は終わらない!!ーハードコア・ノンユーザーのつかんだ心を離さない図書館ブランディングー」(1日目)熊本大学附属図書館中央館・(2日目)くまもと県民交流館パレア(熊本県熊本市)
- 11) 2015.06.17-TRC スタッフ研修 1「」TRC本社(東京都文京区)
- 12) 2015.07.10-世田谷区立図書館職員研修「」世田谷区立中央図書館(東京都世田谷区)

★生涯合計 181本

◎講演予定

- 13) 2015.07.25-日赤図書室協議会研修会 PR講座 日赤会館(東京都港区)
- 14) 2015.07.29-神奈川県学校図書館経営論研修講座(神奈川県横浜市)
- 15) 2015.08.07-北海道地区大学図書館職員研究集会「ブランディング・オリエンテーション・広報」(仮題) 小樽商科大学(北海道小樽市)
- 16) 2015.08.08-私短図協北海道地区協議会研修会「図書館をPRする〜双方向性コミュニケーションの関係づくり実践法〜」北海道武蔵女子短期大学(札幌市)
- 17) 2015.08.08-『図書館員のためのPR実践講座』出版記念会 8 in 札幌 & 情報交換会 北海道武蔵女子短期大学(札幌市)
- 18) 2015.08.19-世田谷区立図書館館長研修
- 19) 2015.08.24-福岡県立図書館青少年読書推進講座「子どもたちの居場所になる図書館をつくる〜どう図書館をPRしていくか〜(仮)」福岡県立図書館(福岡県福岡市)
- 20) 2015.09.04-私立大学図書館協会西地区部会阪神地区協議会研究会「今、あらためて大学図書館職員の働き甲斐を問う」梅花女子大学図書館(大阪府)
- 21) 2015.10.02-長野県立高校学校司書研修会 長野県県庁講堂(長野県長野市)
- 22) 2015.11.09-静岡県立図書館大会「図書館サービス」分科会 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」(静岡県静岡市)
- 23) 2015.11.20-TRC スタッフ研修 2 広報 TRC本社(東京都文京区)
- 24) 2015.11.26-文部科学省 図書館地区別研修(北日本地区)「図書館ブランディング」(仮題)札幌市中央図書館(北海道札幌市)

(にかみ・こうじ/配付資料/2015.7.22作成)■□■